



議会だより

でいすかす

123号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2024.8.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

目次

委員会だより …… ①～②ページ 一般質問 …… ③～⑤ページ 補正予算審査 …… ⑥ページ

委員会だより



▲議長諮問手交の様子

令和5年6月に議長から諮問を受けた、議論する議会として適正な議員定数及び組織体制の見直しについて、本定例会中に議長へ答申しました。諮問事項についての協議では、今後議会として重点的に取り組む内容をまとめ、議員定数について議論を進めてきました。また、『これからの議会・議員に必要なこととは』をテーマに意見交換会を市内4箇所で開催しました。

これらの協議経過を踏まえ、議員全員へ定数に関するアンケートを実施した結果、現状維持8名、削減11名となり、全員一致には至りませんでした。今後の議会力強化の取り組みとして、意見交換会などの意見を政策提案として実現につなげる体制強化、主権者教育の実施、若年者層向け議会ガイドブックの作成、多様な方が議員として参画できる受け入れ環境整備に努めて参ります。

本件についてご協力くださった皆様に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

※答申の詳細は市議会ウェブサイトのお知らせをご覧ください。
(宮武 みたけ)

※令和6年6月28日時点の内容です。

議員定数に関する

答申を終えて
議会運営委員会



▲議会サポーターとの意見交換実施の様子

本委員会は、4月に議会サポーターとの意見交換会を開催しました。

議会サポーターの方々は、教育現場で活躍されていることもあり、インクルーシブ教育について各委員よりさまざまな質問があり、インクルーシブ教育の現状を知る有意義な時間となりました。

また、第2回登別市議会定例会において、委員会付託を受けた登別市役所本庁舎建設工事費の工事請負契約について審査しました。

委員会審査では、契約相手方との金額の支払い方法や、多くの施工業者が現場作業を行う中での工程管理を誰が行うのか、全体の金額として基本設計策定時から変更になったかなど、さまざまな質疑応答を経て、全会一致で可決しました。

今後の活動として、大阪府の大阪市と豊中市へインクルーシブ教育の推進について、行政視察を行う予定で準備を進めています。

また、7月18日には登別市障害者福祉関係団体連絡協議会との意見交換会を予定しております。

(井野 いの)

※令和6年6月28日時点の内容です。

意見交換会と

定例会での議案審査を終えて
総務・教育委員会

委員会活動の

折り返しにあたり

生活・福祉委員会

本委員会は、7月16日から18日の3日間、福岡県久留米市、小郡市、大分県別府市に行政視察を予定しています。

久留米市では、地域共生社会のまちづくりについてをテーマに、また、小郡市と大分県別府市では、本年1月30日に開催した行政視察報告会での参加者から、地域課題としての公共交通のご意見が多かった背景を踏まえ、地域公共交通の取り組みについてをテーマに視察を行います。

視察後は前回同様、視察報告会を企画していきたいと考えております。

また、今後の新たな取り組みとしては、これまでの委員会において、2年ごとに行政視察や市民の方々との意見交換を開催し、当時の重点活動テーマをもとに、政策提言を実施してきました。



▲前回の行政視察報告会の様子

先に提言してきた、健康なまちづくりの推進に向けて、子育て環境の充実強化と高齢・独居世帯の安心安全の暮らしに向けてについて、その後の経過確認を目的とした所管事務調査を予定しています。

(今野)

※令和6年6月28日時点の内容です。

これからの観光・経済委員会の

活動予定と視察項目

観光・経済委員会

本委員会は、7月2日と3日で釧路市に行政視察を予定しており、視察項目としては、第2期観光振興ビジョン全般について、観光地域づくり法人形成・確立計画について、及び国立公園隣地に建設される大規模太陽光発電施設規制に係る課題に對しての意見交換と問題の共有について、さらに副題として、釧路市自然と共生する太陽光発電施設の設置に関するガイドラインの条例化についてを予定しております。

今回の視察を参考に、本市で現在進められている大規模太陽光発電設備設置の規制に関する条例制定などの課題点を注視していきます。

また、重点活動テーマである、全市観光並びに地域経済の活性化についてを主軸とし、今後の全国的な人口減少が問われているなか、全市観光マップ作成の検討を行い、このまちの魅力を再発見していただくことで本市の人口流出の抑制に少しでも貢献し、地元の経済活性化のためにできることを最大限模索しながら、今後の委員会活動を進めていきます。



▲前回の行政視察の様子

（田中）

※令和6年6月28日時点の内容です。

地方議会制度の

理解促進に向けた活動へ

広聴・公開委員会

昨年度の主な活動としては、議会フォーラムの開催はもとより、議長諮問による、議員の見える化についての協議を踏まえ、私の羅針盤と題した、議員個々の政策に対する指針を市議会ウェブサイト内の議員紹介ページへ追加しました。

また、市議会フェイスブックページでは、議会活動の様子を動画で投稿したり、議会傍聴アンケートをウェブでできるように改修したことなど、既存の活動に対しても磨き上げを行ってきました。今年度の活動は、同じく議長諮問となっている、主権者教育への一層の貢献について協議を行い、市議会の仕組みや地方議会制度についての知識を広く知っていただくため、説明資料ともなるウェブページの構築に着手しています。

生活に身近な政治の最前線が地方議会です。



▲昨年の議会フォーラムの様子

地方自治体は国政と違い、二元代表制となつているため、市長と議員は直接選挙で選ばれ、市民の代表として議論をしています。

これらの詳細をまとめた、市議会のあらましページ完成にご期待ください。

(伊藤)

令和6年第2回定例会 一般質問

[令和6年6月17日(月)～6月20日(木)]

議員11名が市政を問う



▲定例会最終日の集合写真



金澤議員の
一般質問
中継はこちら

今年の学校での
暑さ対策は
金澤 則男

質 今年度から使用するスポットクーラーの騒音対策は。

答 稼働音が授業に支障のないよう、授業開始前や休み時間に稼働することで教室内を冷却したり、授業で使用していない教室をクールスポットとして

使用したりすることを想定している。

質 授業中、教室の温度が28度を越えたときはどのような対応をするのか。

答 スポットクーラーは、教室などの温度が28度以上となる場合に使用することを基本とし、天候や日当たりのほか、熱中症警戒アラートの発表などを総合的に判断し、使用することとしている。

質 冷却グッズの学校への持ち込みにしても許可しているのか。

答 暑さ対策として、ネックリングなどの冷却グッズについては、各学校の判断において持ち込みを許可している。



千田議員の
一般質問
中継はこちら

公募設置管理制度活用で
公園の整備と活気を
千田 文孝

質 公募設置管理制度（※Park PFI）の本市の認識は。

答 平成29年度の都市公園法改正により創設され、民間資金により一層の推進が必要との考えで、民間活力による新たな都市公園の整備手法として公園

「こどもまんなか社会の
実現に向けて」
今野 幹太



今野議員の
一般質問
中継はこちら

質 児童館、放課後児童クラブの設置状況に地域差があるが、児童館が遠い小学校区において、小学校近くに移設する考えは。

答 児童館の設置場所は、小学校敷地内や隣接地が理想と考えており、現在、

富岸児童クラブと富浜児童館を統合した、新しい子育て支援施設の整備を検討しており、他の施設についても同様の考えの下に検討していきたい。

質 夏休みなどの長期休業中における放課後児童クラブの子どもの昼食は、学校給食も休みで、保護者の方たちが苦労されていると聞きするが、スマホなどのアプリを活用した民間事業者の配食サービスを導入する考えは。

答 民間事業者が提供している配食サービスの導入にあたっては、まずは保護者のニーズを把握し、発注方法や集金などの児童クラブ側の負担も考慮し可能性を検討していきたい。

の再生・活性化を推進するもので、質の高い公共空間の創出や利用者の利便性向上を図る有効な手段の一つである。

質 公園に係る現状の維持・管理費用と今後の見通しは。

答 令和6年度当初予算では、整備費用合わせて約1億3千400万円であり、今後は人件費や資機材費も上がり、維持・管理費の上昇を想定している。

質 本市におけるPark PFI活用の有無の考えは。

答 さらなる公園の魅力向上のため、老朽化した公園の再整備や新たな活用について、Park PFIを含め、さまざまな手法を検討していく。

※Park-PFI…都市公園における民間資金を活用した新たな整備・管理手法のこと

質 本市の保育所利用者負担額（保育料）が国で定める上限額の基準通りとなっている。
胆振管内でも国の基準通りとしているのは本市のみであるが、子育て世帯から最も要望の多い、保育料負担軽減



宮武議員の一般質問
中継はこちら

利用者目線に立った
保育環境の充実を
宮武祥子

質 本市においては、新庁舎建設にあたり、インクルーシブ公園の設置や、パートナーシップ制度の導入検討など、ダイバーシティ&インクルージョンを推進していると認識している。
今後、策定される第4期基本計画に



井野議員の一般質問
中継はこちら

やさしさと共生する
まちづくりに向けて
井野正臣

策について今後の考えは。
答 保育所利用保護者から、経済的負担の軽減を求める声を多くいただいており、子育て支援策として保育料の負担軽減は最も重要と認識している。
保育料が負担となり、子育て世帯が他自治体への流出や転入の阻害、第二子出産をためらう要因となっているのであれば、消滅可能性自治体からの脱却や、安心して子どもを産み育てられるまちをつくるために、子育て世帯への経済的負担に取り組みなければならず、市として協議・検討していく。
そのほか、保育所利用について臨機応変な対応を求める質問をしました。

どのように反映させていくのか。
答 第4期基本計画についても、多様性を認め合い、すべての人を差別することなく受け入れる、ダイバーシティ&インクルージョンの概念は重要性を増す考えの一つとして認識している。
このまちに生きるすべての人が、性別、年齢、国籍、障がいの有無に関係なく、社会的制約を受けず自分らしい生き方を追求できるまちづくりは大きなテーマの一つと考える。
今後は、概念を独立した施策とするか、各施策の共通する基本姿勢とするか、市民自治推進委員会を中心とする検討作業で深めていく。

図書館本館は、狭隘な館内スペースや駐車場の不足、施設の老朽化など多くの課題を抱えながらも、社会教育施設の核として役割を果たしてきました。
今後は、未来へ託せる図書館構想が大変重要であると考え質問しました。



伊藤議員の一般質問
中継はこちら

わがまちの図書館を
未来へ託していくためには
伊藤健太

質 笑いの力で地方創生に取り組んでいる民間の活用の可能性は。
答 地方創生に関する各事業の実施に關しては、人口減少対策や、それに付随する社会課題解決への効果に基づき判断しているところであり、笑いの力



足立議員の一般質問
中継はこちら

笑いの力で地方創生を
足立知也

質 図書館を新設する考えは。
答 現状の課題解消のためには理想的ではあるが、本市の大型事業が続く財政状況での早期建設は難しいものの、将来的には新設も目指していきたい。
質 図書館構想策定の考えは。
答 図書館運営の理念と基本方針を定めた運営ビジョンである、登別市立図書館のめざすものを策定しており、今後もこの理念をもとに社会変化などを的確に捉え、蔵書や機能などの具体的な議論を深めるため、学生なども含めた検討委員会を組織し、ご意見を伺いながら、今年度内での基本構想の策定を目指していく。

による民間の取り組みを活用するか否かについても、個別案件に応じ、分野別、施策ごとに検討することになる。
吉本興業では、あなたの街に住みますプロジェクトというのがあり、47都道府県に住みます芸人がいて、学生向け自殺防止などの講座や漫才ワークショップ、高齢者向け落語教室、障がい者施設への訪問などが行われたり、商店街振興、地域物産開発など、幅広く地方創生に関わっています。
愛知県犬山市のお笑い人力車で5年で観光客が14万人増えた例、北海道下川町の笑いで町おこしの例なども挙げながら、今後の検討を提案しました。

大規模災害時における避難所のトイレ環境は

小栗義朗



小栗議員の一般質問
中継はこちら

質 大規模災害時において、避難所におけるトイレ環境の改善は災害関連死を防ぐために不可欠なものであるが、本市の取り組み状況は。

答 水がなくても使用できる携帯トイレを1万6千個備蓄しており、今後10

高齢者保健福祉計画と介護保険事業の取り組みは

佐々木久美子



佐々木議員の一般質問
中継はこちら

質 私が訪問した80歳代の夫婦からは、将来について不安だが、どこへ相談したらいいかわからないと伺った。

市はさまざまな媒体を活用して、介護保険制度の周知を行っていることは理解するが、直接支援が必要な方への

年間で4万個を備蓄する予定である。

質 能登半島地震を機に、全国の自治体でトイレトレーラーを導入する動きが出ているが、本市の考えは。

答 価格が高額であり、移動には牽引する車両や牽引免許が必要となるなど、運用上の課題があるため、現時点では携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレでの対応を考えている。

質 福祉施設などにおける携帯トイレの備蓄状況は。

答 福祉避難所として協定を締結していない福祉施設などは個別に携帯トイレの備蓄状況を把握していないが、今後も備蓄に関する周知・啓発に努める。

働きかけは行っているか。

答 要介護認定を受けていない80歳の方の自宅を訪問し、健康状態や日常生活の困りごとなど、聞き取りを行っている。

質 不足しているサービスとして、訪問介護が挙げられ、訪問介護は在宅医療に欠かせないサービスであるが、ヘルパーの充足状況は。

答 訪問介護事業所は8事業所あるが、ヘルパーの数は不足している。

質 介護報酬引き下げの影響もあるのではないか。

答 令和6年度からの改定がどの程度影響するのか、状況を注視していく。

太陽光発電の規制に関する条例制定の考えは

若木康夫



若木議員の一般質問
中継はこちら

質 自然や景観を損ねる太陽光発電の設置を懸念する声が聞かれるが、本市として、このような市民の声をどのように受け止めているのか。

答 再生可能エネルギーの導入は必要不可欠なものと考えているが、一方で

登別市第4期基本計画と市民自治推進委員会は

田中寛志



田中議員の一般質問
中継はこちら

質 市と市民自治推進委員会の両輪で第4期基本計画策定を進めていくわけだが、協議の過程や結果を踏まえて、どこに重点を置いて市民の要望や思いを事業に落とし込みするのか。

答 具体的な事業の実施計画について

現実的に自然や景観を損ねる実態もあるものでそれらの保全を図る必要があるものと感じている。

質 条例を制定すると仮定した場合、本市の考えとして禁止区域または抑制区域などを設定する考えはあるのか。

答 現時点の考えとして、両方を設定することで検討している。

質 条例制定までの工程を伺う。

答 制定の流れとして、素案作成、パブリックコメント、市民団体などの意見交換会、議会への説明、環境保全審議会を経て議会での審議となり、順調に行けば、条例案は令和6年12月の定例会に提出が可能と考えている。

は、策定後に市民自治推進委員会に情報提供し、実施計画の節目には、市民自治推進委員会の全体会議で進捗状況などを説明するが、各年度の事業選択については、時々々の国の施策や本市の財政状況など、さまざまな要素に左右されることから、その過程をおしなべて公開はしていない。

市民自治推進委員会や各団体の提案などに対しては、その都度、事業化の有無や予算への反映状況などを説明するよう努めているが、そうした提案は、市民の意見や思いを施策に生かす絶好の機会なので、今後も、各団体との意見交換を丁寧に行っていく。

予算・決算委員会（令和6年度補正予算審査）〔令和6年6月25日（火）〕

今期定例会での補正予算審査における追加予算では、主に民生費のことも誰でも通園制度（仮称）試行事業費に質疑が集中し、6名の委員から質疑がありました。

主な質疑は、定員を15人とした根拠や利用定員の概要及び利用人数に対する職員配置の内訳について、委託先はさまざまな課題の洗い出しに対応ができる事業者であると認識してよいか、利用者負担額となる300円に含まれているサービス内容についてなど、これらの質疑終了後、なぜこの事業を今行うのかの是非について、委員間協議の申し出がありました。

委員間協議では、複数の委員より意見があったが、討議内容での合意形成が難しいと判断し、各会派代表者会議へと移行して再協議を行いました。

各会派において協議内容の集約後、各会派代表者会議での協議の結果、付帯意見は付けないことで合意し、議題となった事業の進捗は、今後、所管となる生活・福祉委員会での継続調査とすることを確認したのち、採決による賛成多数で原案どおり可決しました。

また、定例会最終日の追加補正予算（第3号）では、R6登別市本庁舎建設機械設備工事の3件について、不落となったことから再計算し、債務負担行為の限度額の補正を行いました。

（千田）



▲令和5年第4回定例会オンラインでの一般質問の様子

本市議会は、一昨年より続けている多様性のある議会に向けた仕組みづくりと実践が評価され、早稲田大学マニフェスト研究所による全国議会改革度ランキングで、2年連続となる全国1位の評価をいただきました。

長年の議会改革の積み重ねとともに、近年はオンラインでの議会質問や議会図書室へのベビーサークルの設置など、多様な議員が活躍しやすい環境を整え活用してきました。

さらに、議会フォーラムでは、これまで参加協力をいただいていた諸団体の中心となる市民に加え、日本工学院北海道専門学校、登別青嶺高等学校、登別明日中等教育学校の生徒にも参加を呼びかけ、多世代でまちづくりについて話し合う場づくりに取り組んでいます。

議会改革度ランキング

2年連続全国1位

このような活動を通じて、中学校からは社会科の授業の一環で、主権者教育の特別講義の依頼をいただくなど、多様な住民との交流の機会が増えています。

今後は、議会としてはもちろんのこと、これらの仕組みを議員個々が活用していくことで、住民福祉の向上を実感してもらえるような活動へつなげていけるよう努めていきます。

（辻）

令和6年第2回定例会における議案の賛否状況

第2回定例会で上程された議案はすべて可決されました。（議案第38号は岩田議員、金澤議員、佐々木議員が反対し、挙手採決により可決）

**令和6年第3回定例会は
9月4日（水）から開催される予定です。**

議会中継を見ませんか？

本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。

また、スマートフォンやパソコンで、生中継、過去の録画中継をご覧いただけます。



国会・政府・北海道に6件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。

第2回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

地方財政の充実・強化に関する意見書

教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直し全ての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書